



食品農業支援

千葉県の農業を未来につなげる JA全農ちば(全国農業協同組合連合会千葉県本部)

設立:2001年(創業1947年)
従業員数:205人(2025年12月末時点)
千葉市中央区新千葉3-2-6
TEL 043-245-7360 / FAX 043-247-9715
https://www.zennoh.or.jp/cb/



▲ホームページ

- 交流授業
- 職場見学
- 個別質問



こんな仕事をしています。

JA(農業協同組合)とは、各地域の農家が組合員となり、お互いに助け合うためにお金を出し合っった組織です。JAグループは、組合員の仕事や営農(農業を営むこと)、生活を支援するために、幅広い事業を展開しています。JA全農ちばは其中でも、農畜産物や農作業に必要な資材などの流通を担っています。JAを通じて、千葉県内の組合員が出荷した農畜産物を、組合員・JAに代わって市場へ販売することや、肥料・農業機械・燃料などを組合員へ供給することが主な仕事です。さまざまな面から組合員をサポートすることで、県内の農業や私たちの食生活を支えています。

働く人にインタビュー

野菜や果物の販売を担当しています。農家の収入を1円でも多くし、日本の農業を支えたいと思い、入会しました。価格の協議では市場や産地との情報共有が肝心。電話をするだけでなく、現地に足を運び担当者との顔の見える関係を築くことで、情報共有しやすい環境作りに努めています。



営農園芸部 園芸販売課 加藤 愛理 さん

農業に必要な生産・出荷資材の供給を担当しています。新しいものや便利なものを供給することで、生産者の方々の助けになれば、とても嬉しく感じます。資材に使用する原料は、輸入に頼っているものも多いため日頃から海外の経済の動きにも気を配るようにしています。



生産資材物流部 資材課 出口 浩太郎 さん

例えば...
こんな人に向いています

- 「食」に関する事で地域の役に立ちたい人
- 農家の役に立ちたい人
- チームで協力して最後までやり切れる人
- 人と関わることが好き・得意な人

どんな役割を果たしているの？

地域のJA

- 営農事業: 栽培技術などの指導
- 経済事業: 農畜産物や生産資材※・生活品の流通
- 信用事業: お金の預かり(預金)や貸し付け
- 共済事業: 病気や災害などへの備え

※原材料・部品・消耗品のこと

全農
JA全農ちば

JA全農ちばは営農事業、経済事業を担当。県内の17のJAと協力しながら業務を進めています。

JA全農ちばの仕事の内容

農家の生産性アップのための「営農事業」

- 農家やJA職員向けに栽培技術の研修会を開催。
- 畑や田んぼの土の成分を分析。作物が育つためには、どんな栄養がどれくらい必要かを調べ、肥料・農薬の不足や使い過ぎを防ぎます。



農畜産物を市場などに届ける「販売事業」

JAを通して農家が出荷した農畜産物を集め、市場や卸売業者などに販売。農家が個別に販売するよりも多くの量を安定して確保し、販売できるのがJA全農ちばの強みです。これを生かし、農家の収入を1円でも多くできるように取り組んでいます。



経済事業

農家のくらしを支援する「生活事業」



農家の営農と生活を支える燃料や食品、日用品を取り扱うほか、JAの施設や組合員の住宅などの建設にも取り組んでいます。

生産資材などを農家に届ける「購買事業」

注文を取りまとめ、農家に提供。JAを通して農畜産物を育てるのに必要な品物の注文を集め、メーカーなどからまとめて仕入れ、より安く農家に提供します。



野菜や果物を例に、仕事の流れを見てみよう



花、米や麦、落花生、肉、牛乳などの農家に対しても同じように、JA全農ちばがサポートします。